

令和6年4月12日（金）10時30分～
豊田市役所南庁舎5階 南52会議室

令和6年度第1回豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会 次 第

- 1 会長あいさつ
 - 2 委員紹介 P. 1
 - 3 議題
 - ① 令和5年度実績報告及び決算について P. 2
 - ② 令和6年度事業計画及び予算について P. 17
 - 4 その他（RallyJapan2024について）（情報提供） P. 24
- 【別紙】
- ①世界ラリー選手権 RALLY JAPAN 2023 における経済波及効果調査報告書 P. 27

令和6年度豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会委員名簿

役 名	職 氏 名	
会 長	豊田市長	太田 稔彦
副会長	豊田商工会議所 会頭	三宅 英臣
委 員	豊田市商業連合協同組合 代表理事	吉村 達也
〃	豊田市区長会 推薦	安藤 国博 (R5.5.15 交代)
〃	豊田市中心市街地まちなか宣伝会議 議長	河木 照雄
〃	豊田ホテル旅館組合 組合長	宮澤 清人
〃	一般社団法人ツーリズムとよた 事務局長	斎藤 靖
〃	公益財団法人豊田市国際交流協会 理事長	佐伯 英恵 (R5.6.27 交代)
〃	トヨタ自動車株式会社 総務部 担当部長	植松 良太 (R6.1 交代)
〃	日本労働組合総連合会愛知県連合会 豊田地域協議会代表	大橋 一之
〃	ひまわりネットワーク株式会社 代表取締役社長	堀井 敦
監事	豊田信用金庫 理事長	藤嶋 伸一郎
〃	あいち豊田農業協同組合 代表理事専務	早川 信 (R5.6.23 交代)

※R6.4.1 現在

豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会 令和5年度実績報告書

<令和5年度事業の方向性>

目的：WRCの開催機運の醸成、モータースポーツをいかした地域活性化

【ラリー競技を通じて、山村振興・交通安全の推進・産業振興につなげ、地域活性化を図る】

①「ラリージャパン 2023」の認知度を高める。

②昨年度の知識や経験を最大限活用し、ラリーをいかした市内盛り上げを実施する。

1 ラリー競技の開催

以下の4つのラリー競技を開催した。

内容	主体	時期
(1) 豊田しもやまラリー		
	主催：モンテカルロオートスポーツクラブ（MASC） 運営主体：しもやまラリー実行委員会 後援：豊田市 会場：豊田市下山地区 来場者数：800人	R5.5.21
(2) シロキヤラリー in 稲武		
	競技主催：チームシロキヤ イベント主催：NPO法人稲武まちづくり協議会 会場：豊田市稲武地区 来場者数：900人	R5.10.8
(3) フォーラムエイト・ラリージャパン2023		
	主催：豊田市、TMSC、M.O.S.C.O. 運営主体：ラリージャパン2023実行委員会 会場：愛知県（豊田市、岡崎市、新城市、設楽町） 岐阜県（恵那市、中津川市） 来場者数：536,900人（内訳：有料観客席90,300人、 イベント会場72,400人、沿道応援374,200人） 経済波及効果：126億円（豊田市約80億円 ※来場者 数の比率割合で計算）（※別紙①あり） メディア露出価値（広告掲載換算）：約104億円	R5.11.16 ～19
(4) TGRラリーチャレンジ in 豊田		
	主催：チームシロキヤ 運営主体：TGRラリーチャレンジ in 豊田イベント実 行委員会 会場：豊田市中心市街地、下山地区 来場者数：25,000人	R5.11.25 ～26

2 ラリーをいかしたまちづくり

4つのラリー競技開催に合わせて、山村振興・交通安全の推進・産業振興に資する事業を実施。

内容	主体	時期
(1) 山村振興		
① 開催地域（旭・稲武・下山）におけるおもてなし事業 ・「ラリージャパン 2023」観戦エリアのある旭、稲武、下山地区において、地域を主体に各種盛り上げを実施。 【内容】リエゾン運営・応援、観戦エリアでの飲食・物販出店等のおもてなし事業、パブリックビューイング、ラリーカー展示、グッズ販売、応援グッズ・観光パンフ等の配布 など 	ラリー旭 実行委員会 NPO 法人 稲武まち づくり協 議会 しもやま ラリー実 行委員会	R5.7～
② 山村地域観光施設整備事業【新規】 ・WRC 開催を契機に、三河湖観光センターの再整備や旭高原元気村の修繕及び水回り環境の整備を推進。令和6年11月供用開始予定。	市	R5.4～
③伊世賀美トンネル路面舗装 ・伊世賀美トンネルをラリーのコースで使用するため、舗装修繕を実施。 	市	R5.9

④グレーチング固定・コース清掃 ・ラリーカーが道路横断側溝を通る際の、グレーチングの跳ね上がりを防止するための修繕を実施。 実施場所：市道足助明川連谷線ほか（明川町ほか） 箇所数：29 箇所	市	R5.5～9
(2) 交通安全の推進		
①ラリー教室 ・ラリーの楽しさや魅力を知ってもらうほか、交通安全の推進を図るため、ラリードライバーによるラリー講義や、ラリーカーの模擬走行等を実施。 実施数：全 15 回 22 校 うち豊田市内（上鷹見小、野見小、若林東小、畝部小）	ラリージャパン実行委員会	R5.7～10
②オートテスト（エンジョイ・ドライビング in 豊田） ・機運醸成及び交通安全啓発を目的に運転の正確さを競う競技であるオートテスト（JAF 公認モータースポーツ）を実施。 実施数：4 回（旭、上郷・高岡、稲武、下山地区） 	市	R5.9.24 R5.10.29 R5.11.5 R5.12.3
③交通安全講習 ・豊田市交通安全市民大会の講演会でわがまちアスリートであるラリードライバーの安藤裕一選手による交通安全講習を実施（テーマ：「ラリーコドライバーに学ぶ交通安全」）。 	豊田市交通安全市民会議	R6.1.27

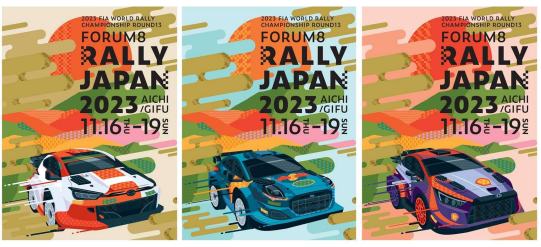
④とまってくれてありがとう運動 ・「秋の交通安全市民運動」の一環として、わがまちアスリートであるラリードライバーのホン・ミンウィ選手とともに、市内こども園の年長園児を対象とした「とまってくれてありがとう運動啓発」を実施。  	豊田市交通安全市民会議	R5.9.22
⑤交通安全ひろば ・豊田市でのラリージャパン開催をきっかけに、交通安全について、楽しく学び、考えるための催事を T-FACE A 館 6 階で実施。 来場者数：6,053 人  	(一財) トヨタ・モビリティ基金 豊田市都市交通研究所	R5.10.27 ～12.24
⑥グッドドライバー・レッスン ・高齢ドライバーを対象とした運転教室を開催 参加者：75 名 内 容：ドライビングレッスン サポカーレッスン シュミレータレッスン 	NPO 法人グッドドライバー・レッスン TGR ラリーチャレ実行委員会	R5.11.22
(3) 産業振興		
①豊田市駅周辺におけるおもてなし事業 ・まちなかおもてなしイベント「ENJOY! RALLY モーターフェスタ 2023」を実施 来場者数：約 30,000 人 (4 日間) ・ラリー色を全面的に出したイルミネーション装飾を実施。  	市 豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会	R5.11.16 ～19 R5.11.16 ～ R6.1.14

②観戦ツアーの企画・販売 ・WRC を契機とした山間地域への宿泊誘導、消費の拡大、地域観光 PR を図るため、地域の事業者と連携し、宿泊付き観戦プランを造成 【参加者数】196 人 【利用室数】97 室 【SS 別人数】11/17 (金) 伊勢神 SS 32 人 11/18 (土) 三河湖 SS 69 人 11/19 (日) 旭高原 SS 95 人 合計 196 人 【利用施設】 宿泊：旭高原元気村、梅屋、溪流荘、寿楽荘、三河高原キャンプ村、腰掛山荘、かじか苑 飲食：旭商工会、旭高原元気村、香恋の館、和 Dining こうや 観戦会場：旭高原元気村、香恋の館  	ツーリズムとよた	R5.11.16 ～19
③WRC 観戦券付き宿泊パックの企画・販売 ・WRC 観戦券と宿泊をセットにした商品を販売することでスポーツツーリズムを推進 宿泊：ホテル松風、豊田プレステージホテル プラザホテル豊田、ロイヤルホテルうお八	豊田ホテル旅館組合	R5.11.16 ～19
(4) その他		
① ボランティアの参加 ・市民ボランティア (スポーツボランティアとよた)、企業ボランティア等、多くの方々の協力により、安全安心な競技運営、イベントの盛り上げ等を実施。 競技ボランティア：644 人 (延べ 1,046 人) 内 179 人がトヨタ自動車株式会社 観戦ボランティア：343 人 (延べ 549 人) ▶競技+観戦ボランティア：合計 987 人(延べ 1,595 人) スポボラとよた会員数： 1,578 人 (7 月 1 日時点) →2,327 人 (11 月 19 日時点)  	ラリージャパン実行委員会	R5.11.12 ～19

② PR ドラマ制作 市役所職員の主人公が世界ラリー選手権を主催する所属に配属され、大会の成功を目指して奮闘する姿を描き、豊田市やラリーの魅力伝えるドラマ「我が家の夢〜WRCと恋のかけ橋〜」を制作。  ■放 送：11/5（日）13:25-14:50 ■撮 影：9/21～30 ■ロケ地：広瀬やな、旧三河広瀬駅、豊田スタジアム、足助の町並み、豊田市役所など ■地元企業協賛 FTS、協豊製作所、豊田鉄工、小島プレス工業、豊田信用金庫、太啓建設、トヨタ T&S 建設、カシマゴビルディング、JA あいち豊田、矢作道路、モダン装美、ユーネットランス、山信商店、ジェイピーシー	市	R5.11.5
---	---	---------

3 ラリージャパン 2023 開催に向けた機運醸成

「フォーラムエイト・ラリージャパン 2023」の開催に向けて、PR 等を実施。

内容	主体	時期
(1) ポスター		
 - 市内各地に配布・掲示 - 市内配布数：約 800 枚	ラリージャパン実行委員会	R5.3～
(2) パンフレット・チラシ等		
- 豊田市デイズ Vol.6（R5.3.15 発売）、Vol.7（R6.2.26 発売）にラリー特集として掲載 - 市民限定先行チラシを中日新聞に折り込み - 各種イベント、交流館等でチラシを配布  - 商工会議所の会報掲載 関連記事 6 回	ラリージャパン実行委員会 豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会 商工会議所	R5.3～

(5) ひまわりネットワーク

・とよた NOW 2回(7月、10月)



・Weekly Pick Up 5回(7月、9月、10月、12月、3月)



(その他)

- ・下山ラリー ビジョンカー派遣/ステージ運営
- ・シロキヤラリー ビジョンカー派遣/中継
- ・WRCパブリックビューイング(駅前、どんぐりの里、観戦エリアなど)

市

R5.5~

ひまわり
ネットワ
ーク

R5.5~11

(6) 広報とよた

- ・7月号(特集4P): ラリージャパン2023 チケット概要
- ・8月号(市長ダイアリー): ラリージャパンチケット概要発表イベント
- ・10月号(特集4P): ラリージャパン2023のスタジアム情報及びラリーをいかしたまちづくりの取組
- ・11月号(裏面): ラリージャパン開幕直前PR
- ・1月号(とよたフォトニュース): ラリージャパン2023 振り返り



広報とよた

7月号(特集4P)



市

R5.10~
11

(7) SNS		
・WRC、全日本ラリー、ラリーチャレンジの見どころや結果情報を投稿。 - ラリージャパンとしての活動やラリー情報を発信。 Twitter・Instagram・Facebook	ラリージャパン実行委員会	R4.12～
(8) 啓発グッズ		
・ノベルティステッカー、キービジュアルカードの配布 ・ノベルティネックストラップの配布（関係者） ・ノベルティクリアファイルの配布 など ・参与企業や市役所公用車などに PR ステッカー配布 配布数：1,000 枚	ラリージャパン実行委員会 豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会	R5.3～ R5.7～
(9) 屋外広告		
・屋外広告を以下の箇所で実施。 ①参合館壁面ラッピング ②コモスクエアラッピング ③豊田市駅東側デッキ看板、横断幕	豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会	①②③ R5.3～

④デザインマンホール蓋（豊田市駅周辺）



⑤街路灯フラッグ



⑥コモ・スクエア前の支柱装飾



④

R5.9.9
～12.25

⑤⑥

R5.10.20
～11.30

(10) WE LOVE とよた号

・ TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジ in 豊田にて、商工会議所
ラリーチームとして、オリジナル車両「WE LOVE とよた号」で出場。
ドライバー：新井大輝選手 コドライバー：宮部ひろあき選手
結果：オープンクラス優勝



- ・ 会議所ロビー展示（～3 月末）
- ・ 協賛事業数 60 事業所
- ・ 展示会数 4 回
豊田化学工業
ストベリーパークみふね
シンメイ工業 SOUZOU
拳母矯正歯科

豊田商工
会議所

R5.11.25
～26

(11) イベント

①豊田おいでんまつり

- ・ラリーカーパレード
- ・勝田範彦選手と太田市長のステージ登壇 PR
- ・デモラン（勝田範彦選手）
- ・ラリージャパンスターサイン打ち上げ
- ・PR うちわの配布、ラリー車両展示 など



豊田市ラ
リーをい
かしたま
ちづくり
実行委員
会

①
R5.7.29
～30

②とよた産業フェスタ

- ・デモラン（勝田範彦選手、新井敏弘選手）
- ・ラリー車両展示
- ・ラリージャパン 2023 オフィシャルグッズ販売
- ・ラリージャパン応援旗作成、モーターe スポーツ体験会 など



商工会議
所
ラリージ
ャパン実
行委員会
豊田市ラ
リーをい
かしたま
ちづくり
実行委員
会

②
R5.9.30
～10.1

③とよた PR 大使派遣

延べ 11 日

おいでん祭り（ラリーカーパレード）、産業フェスタ
コッパチエントロ 1 ヶ月前イベント、WELOVE とよた号 PR
WRC ラリージャパン、ラリーチャレンジ、三河湾ラリー 等



商工会議
所

(12) とよたの工がオになる市民活動ラリー ・市民活動団体が活動する様々な時期・場所で、ラリーに関する啓発物の掲示やラリーに関連した活動を行ってもらい、その活動に参加した人にラリーを身近に感じ、興味を持ってもらう取組を実施。 参画団体：231 団体	豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会	R5.7.9～ R6.3.17
(13) 交流館での PR ・ラリージャパン開催に向けた機運醸成、モータースポーツをいかした地域活性化のため、ラリージャパンに関連した掲示物等を来館者へ配布・掲示。(ポスター、カード、ステッカー、のぼり旗、チラシ等) 竜神交流館 高橋交流館（ふれあいまつり）	市豊田市文化振興財団	R5.5～11
(14) e スポーツを活用したプロモーション ・とよた産業フェスタ及びTGRラリーチャレンジ in 豊田にて、モータースポーツゲームを活用したラリージャパンのPRを実施	豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会	R5.9.30～10.1 R5.11.25～26

4 その他

(1) 旭高原ミニポディウム

- ・ラリージャパン2023のレガシーとして、旭高原元気村に LiveTV ポディウムに使われた竹垣を再利用したミニポディウムフォトスポットを設置。



豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会

R5.2.5～

(2) TGC×大学生企画

- ・豊田市が2050年のゼロカーボンシティの実現に向けて行っているプロモーション事業「New VibeZ (ニューバイブズ)」に賛同し、大学生等と共に WRC 関連グッズ (Tシャツ・サコッシュ・ポーチ) を作成。



豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会

R5.11～

豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会 令和５年度収支決算書

収入の部

(単位：円)

項目	概要	予算額	決算額	増減額	備考
負担金	豊田市負担金	35,000,000	33,894,572	-1,105,428	返還額
協賛金	市内企業・団体による協賛金	4,000,000	1,000,000	-3,000,000	50万円×２社（令和４年度分） ※令和５年度は協賛依頼なし
雑収入		0	99,373	99,373	ふるさと納税返礼品代（DVD）
収入合計		39,000,000	34,993,945	-4,006,055	

支出の部

(単位：円)

項目	概要	予算額	決算額	増減額	備考
１ プロモーション等経費	(１) ＰＲ（雑誌記事掲載、屋外広告等）	8,040,000	3,313,312	-4,726,688	コモ・スクエアラッピング、豊田市デイズ、駅前PRブース、WE LOVE とよた号協賛、南庁舎2階壁面ラッピング、中日新聞折込
	(２) イベント出展等	8,060,000	9,635,691	1,575,691	eスポーツ、マンホール、おいでんまつり、産業フェスタ、ラリー教室
	(３) その他ＰＲ費	1,500,000	2,122,465	622,465	市民活動ラリー、PRステッカー、のぼり旗、コモ・スクエアサイネージ
２ ラリーをいかした市内盛り上げ等経費	(１) 山村地域の機運醸成、地域活性化	15,000,000	14,278,114	-721,886	旭地区、稲武地区、下山地区
	(２) TGC×大学生企画	2,000,000	1,477,740	-522,260	グッズ制作
	(３) 豊田市駅前装飾・リエゾン応援	2,000,000	3,042,358	1,042,358	選手フラッグ、柱巻、リエゾン実況、大橋セイリング
	(４) その他盛り上げ経費	1,500,000	875,600	-624,400	旭高原ミニボディウム
３ その他経費	(１) 事務費等	900,000	248,665	-651,335	振込手数料、印紙、事務用品
支出合計		39,000,000	34,993,945	-4,006,055	

令和6年4月9日

豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会 様

会計監査結果について

豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会規約第6条第3項の規定に基づき、令和5年度決算書及び関係帳簿等の監査の結果、正確、適正に行われていたことを報告します。

豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会

監 事

藤嶋伸一郎

監 事

早 川 信

豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会 令和6年度事業計画

＜令和6年度事業の方向性＞

目的：WRCの開催機運の醸成、モータースポーツをいかした地域活性化

【ラリー競技を通じて、山村振興・交通安全の推進・産業振興につなげ、地域活性化を図る】

- ①「ラリージャパン 2024」の認知度を高める。
- ②昨年度の知識や経験を最大限活用し、ラリーをいかした市内盛り上げを実施する。
- ③ラリーが地域の誇りであるという思いにつながる取組・PRを実施する。

1 ラリー競技の開催

以下の4つのラリー競技を開催する。

内容	主体	時期
(1) 豊田しもやまラリー		
	主催：モンテカルロオートスポーツクラブ（MASC） 運営主体：しもやまラリー実行委員会 後援：豊田市 会場：豊田市下山地区	R6.5.19
(2) シロキヤラリー in INABU		
	競技主催：チームシロキヤ イベント主催：NPO 法人稲武まちづくり協議会 会場：豊田市稲武地区	R6.10.13
(3) フォーラムエイト・ラリージャパン2024		
	主催：豊田市、TMSC、M.O.S.C.O. 運営主体：ラリージャパン2024実行委員会 会場：愛知県（豊田市、岡崎市、新城市、設楽町） 岐阜県（恵那市、中津川市）	R6.11.21 ～24
(4) TGRラリーチャレンジ in 豊田		
	主催：チームシロキヤ 運営主体：TGRラリーチャレンジ in 豊田イベント実行委員会 会場：豊田市中心市街地、下山地区	R6.11.29 ～12.1

2 ラリーをいかしたまちづくり

4つのラリー競技開催に合わせて、山村振興・交通安全の推進・産業振興に資する事業を実施する。

内容	主体	時期
(1) 山村振興		
① 開催地域（旭・稲武・下山）におけるおもてなし事業 ・「ラリージャパン 2024」観戦エリアのある旭、稲武、下山地区において、地域を主体に各種盛り上げを実施。 【内容】リエゾン運営・応援、観戦エリアでの飲食・物販出店等のおもてなし事業、パブリックビューイング、ラリーカー展示、グッズ販売、応援グッズ・観光パンフ等の配布 など ・「豊田しもやまラリー」「シロキヤラリー」「T G Rラリーチャレンジ」においても、各地域でおもてなし事業を実施。	ラリー旭 実行委員会 NPO 法人 稲武まち づくり協 議会 しもやま ラリー実 行委員会	R6.7～
② 山村地域観光施設整備事業 ・WRC 開催を契機に、三河湖観光センターの再整備や旭高原元気村の修繕及び水回り環境の整備を推進。令和 6 年 11 月供用開始予定。	市	R6.11
③ グレーチング固定・コース清掃 ・ラリーカーが道路横断側溝を通る際の、グレーチングの跳ね上がりを防止するための修繕を実施する。 実施場所：市道下山黒坂和合ほか（和合町ほか） 箇所数：12 箇所	市	R6.5～
(2) 交通安全の推進		
① ラリー教室 ・ラリーの楽しさや魅力を知ってもらうほか、交通安全の推進を図るため、ラリードライバーによるラリー講義や、ラリーカーの模擬走行等を実施する。	市	未定
② オートテスト ・機運醸成及び交通安全啓発を目的に運転の正確さを競う競技であるオートテスト（JAF 公認モータースポーツ）を実施。	市	未定
③ 交通安全講習 ・ラリードライバーによる安全運転講習を実施。	豊田市交通安全市民会議	R6.9～

(3) 産業振興		
①豊田市駅周辺におけるおもてなし事業 ・まちなかおもてなしイベントの実施 ・イルミネーションの実施 ・リエゾン区間での市民応援	市	R6.11～
②観戦ツアーの企画・販売 ・WRC を契機とした山間地域への宿泊誘導、消費の拡大、地域観光 PR を図るため、地域の事業者と連携し、宿泊付き観戦プランを造成	ツーリズムとよた	R6.7～
(4) その他		
① ボランティアの参加 ・市民ボランティア（スポーツボランティアとよた）、企業ボランティア等、多様な人々が活躍できる機会を創出し、安全安心な競技運営、イベントの盛り上げ等とともに支えあう大会を目指す。	ラリージャパン実行委員会	R6.7～

3 ラリージャパン 2024 開催に向けた機運醸成

「フォーラムエイト・ラリージャパン 2024」の開催に向けて、PR 等を実施する。

内容	主体	時期
(1) ポスター		
・各種ポスターを市内各地に配布・掲示 	ラリージャパン実行委員会	R6.3～
(2) パンフレット・チラシ等		
・コモスクエアフロアガイド掲載（豊田市で行われる4つのラリーのPR） ・チラシを中日新聞に折り込み ・各種イベント、交流館等でチラシ配布 ・2023 大会写真を使用した PR パネル展示 ・商工会議所の会報掲載 	豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会 商工会議所	R6.3～

(3) PR 動画		
・ラリージャパン 2023 ダイジェスト動画 (15 秒,30 秒, 90 秒,180 秒) ①公式サイト ②GAZA エントランス ③SNS ④その他	ラリージャパン実行委員会	R5.11～
(4) ホームページ		
(ラリージャパン公式 HP) ・全体像がわかりやすい&ライト層の取り込みを目的に改修。 ・ラリーのルールやチーム&選手の紹介 ・よくある質問の充実 ・各市の盛り上げ、観光紹介 ・ラリージャパン 2024 の楽しみ方の紹介 ・リエゾンの楽しみ方 (豊田市公式 HP) ・ラリージャパン特設ページの充実 ラリーをいかしたまちづくり フォーラムエイト・ラリージャパン 2024 ラリー用語集 FIA 世界ラリー選手権 (WRC) とは	ラリージャパン実行委員会 市	R6.1～ R6.1～
(5) ひまわりネットワーク		
・Weekly Pick Up 全3回 (7月、11月、12月) ・その他特集予定あり	市	R6.5～
(6) 広報とよた		
・8月号にラリージャパン 2024 チケット情報等を特集号で掲載 ・11月号にラリージャパン 2024 及びラリーをいかしたまちづくりの取組について特集号で掲載	市	R6.8～ 11
(7) SNS		
・WRC、全日本ラリー、ラリーチャレンジの見どころや結果情報を投稿。 ラリージャパンとしての活動やラリー情報を発信。 Twitter・Instagram・Facebook ・毎週月曜日に Instagram 投稿 ・プレゼントキャンペーンを不定期で開催 ・チケット情報はこちら。を定期的に配信 (7月下旬頃から) ・モデルを活用したグッズ紹介 ・ラリーアテンダントの任命 ・観戦エリアの楽しみ方や観戦の仕方 などなど	ラリージャパン実行委員会	R5.12～
(8) 啓発グッズ		
・ノベルティロゴステッカーの配布 ・チラシ等のフライヤーの配布 ・ノベルティ (タオル等) の配布 (関係者向け) など	ラリージャパン実行委員会	R6.3～
(9) 屋外広告		
・参合館壁面ラッピング ・愛知環状鉄道ラッピング ・豊田市駅東側デッキ看板、横断幕 ・デザインマンホール蓋 ・街路灯フラッグ ・コモ・スクエア前の支柱装飾 など	豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会	R6.5～

(10) WE LOVE とよた号		
・ TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジ in 豊田にて、商工会議所 ラリーチームとして、オリジナル車両「WE LOVE とよた号」で出場。	豊田商工 会議所	R6.11.29 ～12.1
(11) イベント		
①豊田おいでんまつり ・ ラリーカーパレードの実施 ・ ドライバーのステージ登壇による P R ・ チラシやノベルティの配布 など ②とよた産業フェスタ ・ デモラン ・ ラリー車両展示 ・ ラリージャパン 2024 オフィシャルグッズ販売 ・ ラリージャパン応援旗作成、モーターe スポーツ体験会 など ③とよた PR 大使派遣 ・ 各種ラリー関連イベントで PR 大使を派遣	豊田市ラ リーをい かしたま ちづくり 実行委員 会 商工会議 所	① R6.7.28 ～29 ② R6.10.5 ～6
(12) とよたの工がオになる市民活動ラリー		
・ 市民活動団体が活動する様々な時期・場所で、ラリーに関する啓発物の 掲示やラリーに関連した活動を行ってもらい、その活動に参加した人に ラリーを身近に感じ、興味を持ってもらう取組を実施。	市	R6.7～
(13) 交流館での PR		
・ ラリージャパン開催に向けた機運醸成、モータースポーツをいかした地 域活性化のため、ラリージャパンに関連した掲示物等を来館者へ配布・ 掲示。(ポスター、のぼり旗、チラシ等)	市	R6.7～
(14) e スポーツを活用したプロモーション		
・ とよた産業フェスタ及び T G R ラリーチャレンジ in 豊田にて、モータ ースポーツゲームを活用したラリージャパンの PR を実施	豊田市ラ リーをい かしたま ちづくり 実行委員 会	R6.10.5 ～6 R6.11.29 ～12.1

豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会 令和6年度収支予算書（案）

収入の部

項目	概要	R6予算額	備考	【参考】R5予算額	【参考】R5決算額
負担金	豊田市負担金	40,200,000		35,000,000	33,894,572
協賛金	市内企業・団体による協賛金	0	協賛なし	4,000,000	1,000,000
雑収入		500,000	愛知環状鉄道ラッピング協力金（岡崎市）	0	99,373
収入合計		40,700,000		39,000,000	34,993,945

支出の部

項目	概要	予算額	備考	【参考】R5予算額	【参考】R5決算額
1 プロモーション等経費	（１）P R（雑誌記事掲載、屋外広告等）	9,790,000	参合館壁面ラッピング 愛知環状鉄道ラッピング WE LOVE とよた号協賛 中日新聞折込 PRステッカー PRのぼり 南庁舎2階壁面ラッピング	8,040,000	3,313,312
	（２）イベント出展等	8,010,000	eスポーツ マンホール 産業フェスタ おいでんまつり ラリー教室 JAFアンケート調査	8,060,000	9,635,691
	（３）その他P R費	1,500,000		1,500,000	2,122,465
2 ラリーをいかした市内盛り上げ等経費	（１）山村地域の機運醸成、地域活性化	15,000,000	旭、稲武、下山	15,000,000	14,278,114
	（２）TGC×大学生企画	0		2,000,000	1,477,740
	（３）豊田市駅前等装飾・リエゾン応援	4,000,000	豊田市駅前等装飾 手旗作成	2,000,000	3,042,358
	（４）その他盛り上げ経費	1,500,000		1,500,000	875,600
3 その他経費	（１）事務費等	900,000		900,000	248,665
支出合計		40,700,000		39,000,000	34,993,945



FORUM8 RALLY JAPAN 2024

2024 11.21 thu ▶ 24 sun

世界ラリー選手権 フォーラムエイト・ラリージャパン2024
今年も愛知・岐阜で開催決定!

01		Rallye Monte-Carlo ラリー・モンテカルロ	1.24 ▶ 28
02		Rally Sweden ラリー・スウェーデン	2.15 ▶ 18
03		Safari Rally Kenya サファリ・ラリー・ケニア	3.28 ▶ 31
04		Croatia Rally クロアチア・ラリー	4.18 ▶ 21
05		Vodafone Rally de Portugal ラリー・ポルトガル	5.9 ▶ 12
06		Rally Italia Sardegna ラリー・イタリア・サルディニア	5.30 ▶ 6.2
07		ORLEN 80th Rally Poland ラリー・ポーランド	6.27 ▶ 30

08		Tet Rally Latvia ラリー・ラトビア	7.18 ▶ 21
09		Secto Rally Finland ラリー・フィンランド	8.1 ▶ 4
10		EKO Acropolis Rally Greece アクロポリス・ラリー・ギリシャ	9.5 ▶ 8
11		Rally Chite Bio Bío ラリー・チリ・ビオビオ	9.26 ▶ 29
12		Central European Rally セントラル・ヨーロッパ・ラリー	10.17 ▶ 20

13 FORUM8 RallyJapan ラリージャパン 11.21 ▶ 24

I 大会概要



大会名称：F I A世界ラリー選手権 フォーラムエイト・ラリージャパン2024

開催日程：2024年11月21日（木）～24日（日）

主 催：トヨタモータースポーツクラブ／M.O.S.C.O.／豊田市

公 認：国際自動車連盟（F I A）／一般社団法人日本自動車連盟（J A F）

興行主体：ラリージャパン2024実行委員会

（豊田市、恵那市、M.O.S.C.O.、トヨタモータースポーツクラブ、豊田まちづくり㈱）

協 力：ラリージャパン2024関係自治体支援委員会

（愛知県、岐阜県、豊田市、岡崎市、新城市、設楽町、恵那市、中津川市、名古屋市、長久手市）

開 催 地：愛知県（豊田市、岡崎市、新城市、設楽町）、岐阜県（恵那市、中津川市）

大会本部：スカイホール豊田（H Q）

サービスパーク：豊田スタジアム

スペシャルステージ：総距離 約300km

2 ラリージャパン大会コンセプト



ENJOY ! RALLY JAPAN

1

WITH FANS / ファンとともに

日本全国、世界から集まるファンに、もっと快適に、もっと楽しく。世界大会にふさわしい迫力のラリージャパンを体感してもらい、特にライトなファンにもまた来たい！体験を共有したい！と思われる大会にする。

2

WITH TEAMS / チームとともに

世界からラリージャパンに参戦するチームのみなさんが最大限に力を発揮できるようにもてなし、日本や開催地の魅力を伝えとともに、より安心安全な大会へ。

3

WITH HOSTTOWNS / 開催地のみなさんとともに

開催地のみなさんが様々な形で関わり、ともに創りあげていく大会にする。感動や体験を共有し、開催地のみなさんが誇れる大会にする。

4

WITH EARTH / 環境にやさしい大会づくり

ラリージャパンは車、燃料、大会運営など、多方面から地球環境に配慮し、持続可能な大会へ。

3 ラリージャパンを開催する意義



1 市民の誇り

国内外から開催地が注目を浴び、人が集まり、町が賑わう。熱狂や感動を共有し、わが町でのラリージャパンの開催を誇りに思う。

2 山間地の振興

公道をそのままコースとして走るラリージャパンだからこそ山間地そのものが持つ魅力を世界に発信できる機会となる。

3 産業の振興

ラリーカーは市販車を元に各自動車メーカーが技術を注ぎ込んで速さ、耐久性などを高めた車。その技術をさらなる産業の発展に。

4 交通安全の推進

確かな安全運転技術、危険回避技術あってこそその公道でのレース。ラリージャパンを日々の交通安全への意識を高めるきっかけに。

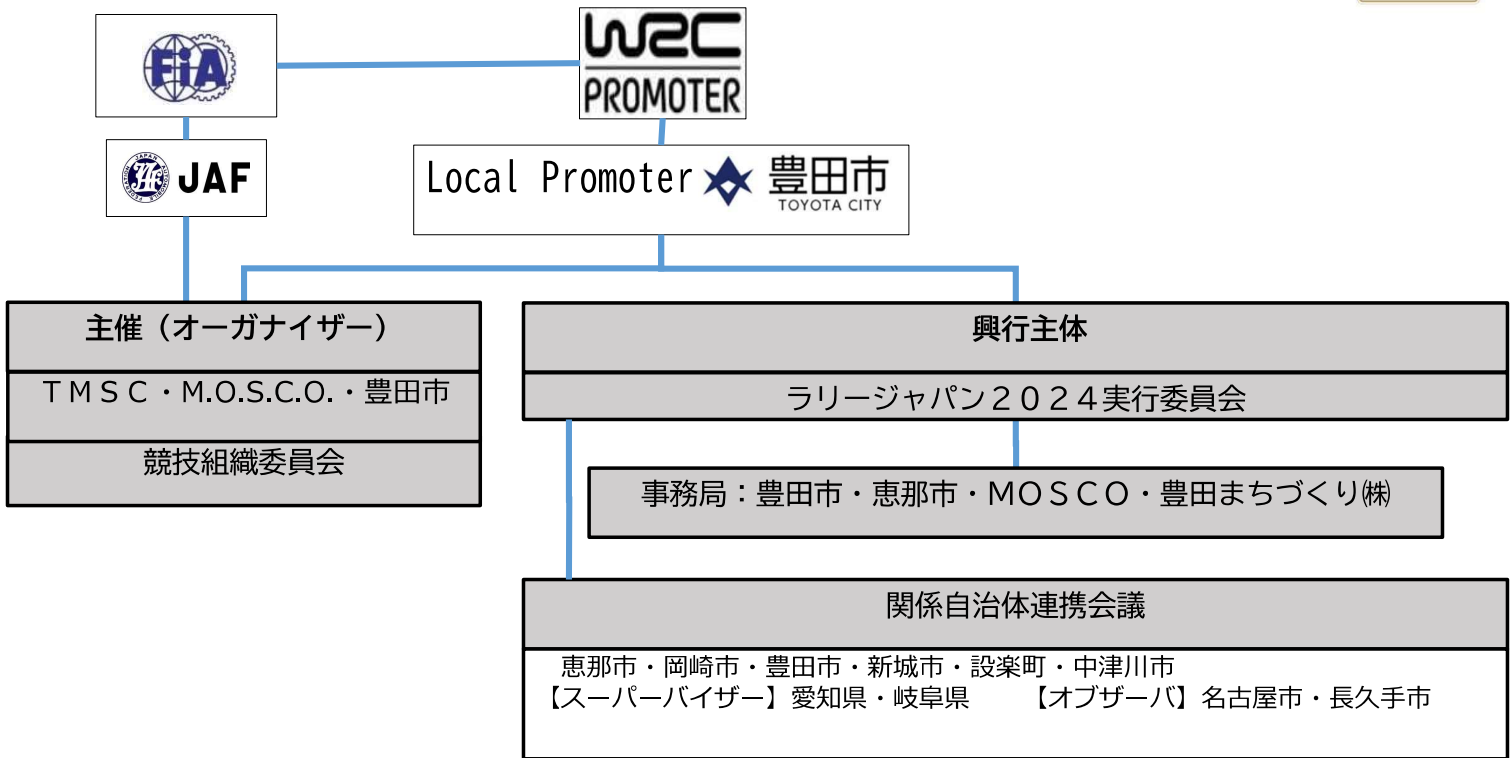
5 青少年の健全育成

ラリー教室などの教育活動を行い、モータースポーツの楽しさや魅力を伝え、青少年の健全育成につなげる。

6 SDGsの推進

ラリージャパンの開催を通じて、二酸化炭素削減への取り組み、リデュース、リユース、リサイクル等、SDGsの啓発や推進を行う。

フォーラムエイト・ラリージャパンの組織体制



世界ラリー選手権（RALLY JAPAN 2023）における 経済波及効果 調査報告書

令和6年3月

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査方法	1
II 経済波及効果の結果	2
1. 世界ラリー選手権（RALLY JAPAN 2023）による豊田市内への経済波及効果の計測結果	2
2. 経済波及効果計測の詳細	2
III アンケート調査結果	2
1. 調査結果の概要	3
2. 調査結果からの考察	4

I 調査の概要

1. 調査目的

豊田市が主催する世界ラリー選手権（RALLY JAPAN 2023）のイベントが、本市にもたらす経済波及効果を計測するための基礎資料とするために実施した。

2. 調査方法

- 調査方法 : スタジアム及び観戦会場での聞き取りによりアンケート調査を実施
- 調査地点 : 令和5（2023）年11月16日（木） 豊田スタジアム、豊田市駅前
令和5（2023）年11月18日（土） 三河湖会場周辺
- 調査人員 : 株式会社サーベイリサーチセンター 調査員 16 名
- 調査時間 : 11月16日（木）：豊田スタジアム 13時00分開始、19時00分終了
豊田市駅前 15時00分開始、19時00分終了
11月18日（土）：10時00分開始、16時00分終了
- 回収枚数 : 458 枚（目標数：400 枚）

Ⅱ 経済波及効果の結果

1. 世界ラリー選手権(RALLY JAPAN 2023)による経済波及効果の計測結果

◆経済波及効果総額 約 126 億 3200 万円

有料エリア入場者数 90,300 人 無料エリア観戦者数 446,600 人 (単位：百万円)

直接効果	第 1 次波及効果	第 2 次波及効果	総合効果
6,221	3,715	2,696	12,631

2. 経済波及効果計測の詳細

今回の試算にあたっては、「世界ラリー選手権」観戦者アンケートから得られた観戦者消費額及びイベント開催に伴う主催者、参加チームによる消費額により、経済波及効果を推計した。

◇直接効果

観戦者 約 31 億 4,000 万円

主催者 約 27 億 7,800 万円

参加チーム 約 3 億 380 万円 合計 約 62 億 2100 万円

直接効果に第 1 次波及効果及び第 2 次波及効果を加えたものが、経済波及効果

第 1 次波及効果…直接効果が各産業の生産に波及する効果

第 2 次波及効果…直接効果及び第 1 次波及効果に伴う雇用者所得が各産業の生産に波及する効果
(百万円)

	総消費額	直接効果	一次 波及効果	二次 波及効果	総合効果
観戦者	3,604.8	3,139.7	2,111.6	1,208.3	6,459.6
主催者等	2,960.1	2,777.5	1,310.5	1,386.3	5,474.3
参加チーム	369.0	303.8	292.9	101.3	697.9
合計	6,933.9	6,221.0	3,715.0	2,695.8	12,631.8

◇その他の効果

粗付加価値誘発額 約 71 億 9400 万円

雇用者所得誘発額 約 35 億 1900 万円

雇用誘発数 約 917 人

	粗付加価値 誘発額 (百万円)	うち 雇用者所得 誘発額	雇用 誘発数 (人)
観戦者	3,467.1	1,577.4	428
主催者等	3,440.3	1,809.8	454
参加チーム	286.7	132.2	34
合計	7,194.1	3,519.4	917

Ⅲ アンケート調査結果

1. 調査結果の概要

・来場者の特性

ラリー観戦者の主な特性は40～50歳代の男性で1人もしくは2人の少人数での来訪が中心となっている。同行者は主に友人・知人や夫婦が多い傾向にあった。

来訪者の出発地は、豊田市内が4割弱、愛知県内が3割弱、愛知県外からも約3割強となっている。旅程としては宿泊を伴う観戦は2割強に留まるが、宿泊者のうち9割強が愛知県外からである。

宿泊数は「1泊」「2泊」が多く、平均宿泊数は2.03泊となっている、

・ラリー観戦に伴う行動

対象者が購入したチケットの種類は、「自由席（通し券含む）」が4割弱、「その他セット券等」が3割強となっている。

約9割の人がレース終了後にイベント次第では、滞在してもいいと思っており、特に「コース同乗走行体験」や「デモ走行」などのイベントコンテンツに対するニーズが高くなっている。また「滞在時間を延ばすつもりはない」と回答した人でも、そのうちの約半数は「コース同乗走行体験」への関心を持っていた。

ラリージャパンが豊田市で開催されることによる効果としては、「地域経済の活性化」が6割強、「モータースポーツの振興」が5割強となっている。また、豊田市からの観戦者では「豊田市の知名度向上」も5割強を占めている。

・来場者の消費額

来場者の消費平均額は16,000円、愛知県外来訪者は33,000円、愛知県内の来訪者は7,400円と県外客の消費は県内客の約4.5倍となっている。

・ラリー観戦における満足度

今回のラリー観戦の満足度は、「チケット価格」を除けば、いずれも満足度は高くなっている。

一方で、次回に有料観戦でも観戦したい人は約4割弱を占めており、有料に対する抵抗感はあまり高くない。

希望するチケット価格は4,000～5,000未満が約4割を占めており、平均価格も3,049円となっている。

2. 調査結果からの考察

イベント効果指標の1つである消費額を見ると、県外客の平均消費額は33,000円と県内客の約4.5倍で、そのほとんどは宿泊を伴う来訪である。これら宿泊や交通費に次いで消費が大きいのはお土産購入費用であり、会場でのグッズ販売は来訪者による大きな消費を生み出していると考えられる。

今回のイベントの満足度を見るとイベント全体の評価について満足（「満足」+「まあ満足」）と回答した人が8割以上と非常に満足度の高いイベントであったことが伺える。特に豊田スタジアムではラリー観戦自体の満足度が高いだけでなく、会場のコンテンツに対する満足度も非常に高い結果となった。昨年と比較して活気があったという声もあり、豊田スタジアムにおける会場の盛り上がりやイベントやブースの充実ぶりが反映されたものと考えられる。

一方の三河湖SSでは、豊田スタジアムと同じくラリー観戦とイベント全体に対する評価は高いものの、グッズ購入や飲食店の充実度の点でやや満足度が低くなっていた。三河湖SSでは唯一グッズの販売を行っていた手作り工房山遊里でもグッズ販売箇所は1つのみであり、観客数に対してグッズ数やスペースが非常に少ない印象を受けたため、次回以降はグッズ販売や飲食物の充実などが求められる。

三河湖SSでは、観客数に対してキッチンカーや飲食店、グッズショップの数が非常に少ない印象を受けた。「手作り工房山遊里」だけでなく、観光バス駐車場スペースを工夫するなどして、飲食スペースやグッズ販売スペースを充実することによって満足度が向上されると思われる。

いずれのエリアでも共通して最も満足度が低かったのはチケット価格である。不満と回答した人は豊田スタジアムではおよそ2割と三河湖SSではおよそ3割に上っており、観戦チケットが高いと感じる人も一定数いたことがわかる。特に三河湖では、物販や飲食に対する満足度の影響からコストパフォーマンスを低く感じられたのではと推測される。

滞在時間の延長については、滞在時間を延ばしてもいいという人と内容によるという人も4割以上となり、全体としては滞在時間の延長に前向きな印象であった。特に30歳代40歳代の若い世代の方が滞在時間の延長に前向きな人が比較的多く見られ、50歳代では内容によるという意見が多い結果となるなど、年代によっても考え方に差が見られた。さらに居住地別でみると愛知県外居住者よりも、県内居住者の方が滞在時間の延長に前向きである結果も見られたことから、自宅からの行き来に時間と場所の融通の利きやすい県内居住者の方が滞在時間の延長や翌日以降のイベントなどに参加しやすいものと考えられる。

滞在時間を延ばす場合の希望イベントとしては、「コース同乗走行体験」が6割以上の支持を得ただけでなく、さらには前問で「滞在時間を延ばすつもりはない」と回答した人でも約半数がコース同乗走行体験には魅力を感じており、滞在時間を延ばすためのコンテンツとして集客力が非常に高いことが伺える。

リエゾンでの調査では豊田市駅前で調査を行い、調査対象とした人は当日の有料観戦チケットを購入していない人に限っている。調査地点付近でも当日の豊田スタジアム入場チケットの販売は行っていたものの、今回の対象者は全てチケットを購入していない。対象者に有料観戦について聴取したところ、

3割半ばが有料観戦に前向きな姿勢であり、約4割が内容によると回答していた。さらにチケット代金について、豊田スタジアム一般席(4000円)を基準にチケット価格の希望金額を聞いたところ、4000円との回答が4割半ばで最も多く得られた。調査時にはスタジアム入場で体験できるコンテンツやイベント、スペシャルステージなどについて説明をしたうえで金額を聞き取りしているため、4000円の回答はチケット価格が妥当であると感じた人が多かったものと考えられる。一方で高すぎると感じる人も一定数存在し、希望額が2000円との回答も全体の2割半ばとなった。希望平均額は基準の4000円よりも低くなっているものの、コンテンツや会場の説明を通してラリーの有料観戦に関心をもっていた対象者も見られたため、ラリーだけの中継ではなく、イベントエリアやキッチンカーなどのスタジアム周辺状況のライブ映像をリエゾンで流したり、今年の会場の様子をPR宣伝の素材にして会場内の楽しさをイメージされることで来年度は有料観戦者が増える可能性を感じた。

ラリージャパンによる消費額を上げるには大きく県内観光客と県外観光客の2つの視点が考えられる。

県外観光客は宿泊費と交通費の金額が大きく来訪するだけで多くの消費を伴う。県外観光客の消費を拡大するには、まず県外からの来訪者を呼び込むことが必要である。交通や宿泊等をセットにしたチケットの販売を行うほか、イベントのセット券による長期滞在を促したり、豊田市でしかできない産業観光の体験や観光を組み合わせるなどが考えられる。

県内観光客はその多くが日帰りであり消費額は県外観光客には及ばないが、豊田市までの距離による来訪のハードルが低いため、複数日の来訪を促すことで飲食費や交通費などによる消費を促すことができると思われる。イベントの期間中・期間後のどちらでも来訪してもらえるようなラリーに関するイベントを実施することが望ましい。

ラリージャパンは普段モータースポーツに関心のない人でも楽しむことができるイベントであると感じるが、豊田スタジアムで楽しめるブースやイベント、コースのイメージがしづらいことが考えられる。来年度以降は昨年の様子を映像で掲載したり、イベントエリア情報を掲載するなど初めてスタジアムやSSを訪れる人にも魅力の伝わりやすい周知を今年以上に行う必要があると感じる。

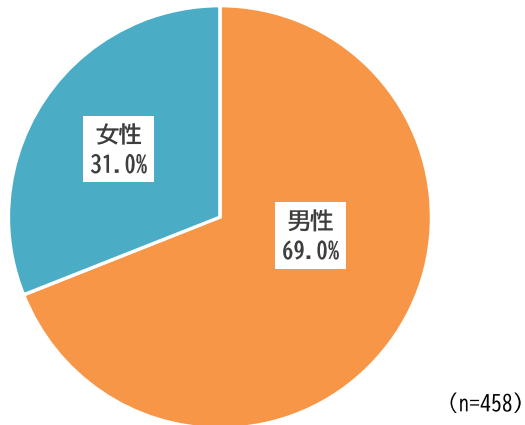
3. 調査結果一覧

問1 あなたご自身の年代・性別を教えてください。

①性別 ②年代

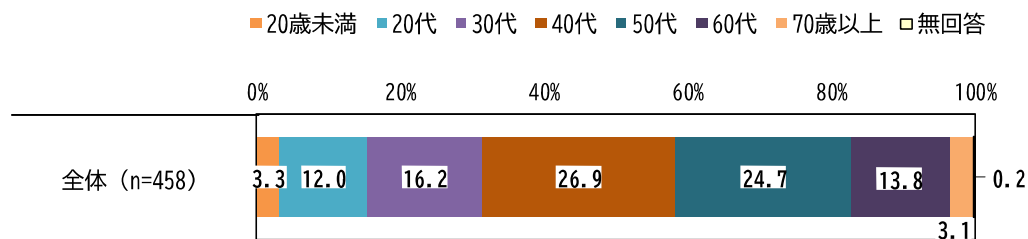
性別は、「男性」が 69.0%、「女性」が 31.0%となっています。

図 1 性別



年代は、「40代」が 26.9%と最も多く、次いで「50代」が 24.7%、「30代」が 16.2%、「60代」が 13.8%、「20代」が 12.0%となっています。

図 2 年代



問2 本日は、何人で、どなたと、どちらからいらっしゃいましたか。あなたご自身を含めてお答えください。(①何人で“数字で”②(2人以上の場合)どなたと。)
(○印はいくつでも)

来訪人数は「2人」が43.9%と最も多く、次いで「1人」が31.9%、「3人」が12.0%、「4人」が7.0%、「5人以上」が4.4%となっており、平均来訪者数は2.15人となっています。

一緒に来た人については、「夫婦」が29.9%と最も多く、次いで「友人・知人」が28.2%、「その他家族」が17.9%、「幼児や小学生連れの家族」が17.2%となっています。

図 3 来訪人数

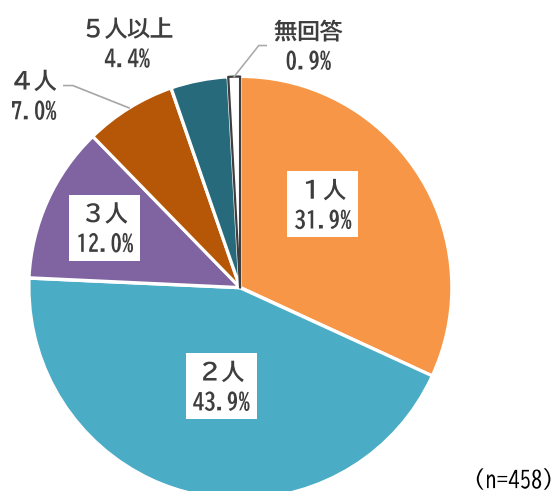
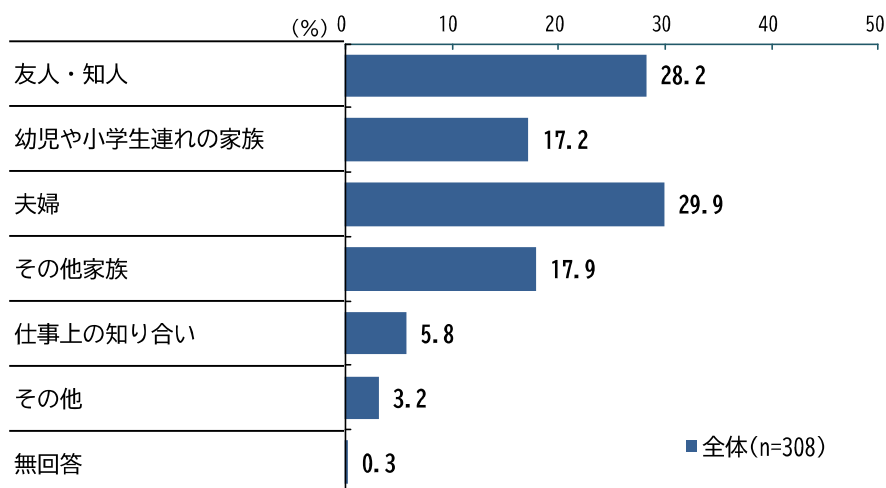


図 4 一緒に来た人

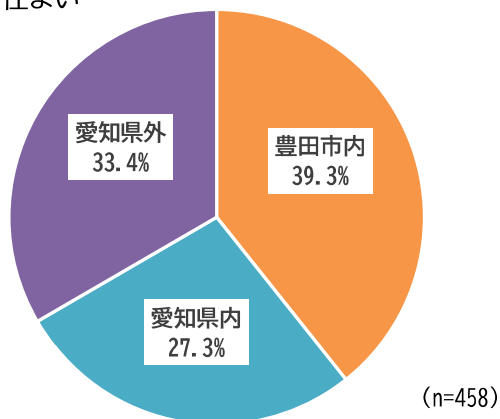


問2③ どちらからいらっしゃいましたか。(○印は1つのみ)

住まいは、「豊田市内」が 39.3%と最も多く、次いで「愛知県外」が 33.4%、「愛知県内」が 27.3%となっています。

また、愛知県内からは「名古屋市」が、愛知県外からは「岐阜県」「三重県」「静岡県」などが多くなっています。

図 5 お住まい



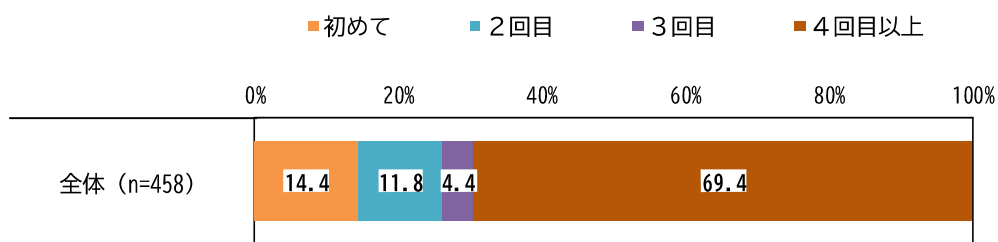
愛知県内の来訪市、県外の来訪都道府県上位5位

愛知県内	件数	愛知県外	件数
名古屋市	45	岐阜県	21
岡崎市	14	三重県	16
瀬戸市	6	静岡県	16
みよし市	6	大阪府	14
春日井市	5	東京都	13
日進市	5	千葉県	13

問3 あなたは豊田市への来訪は何回目ですか。(○印は1つのみ)

豊田市への来訪回数は、「4回目以上」が 69.4%と最も多く、次いで「初めて」が 14.4%、「2回目」が 11.8%となっています。

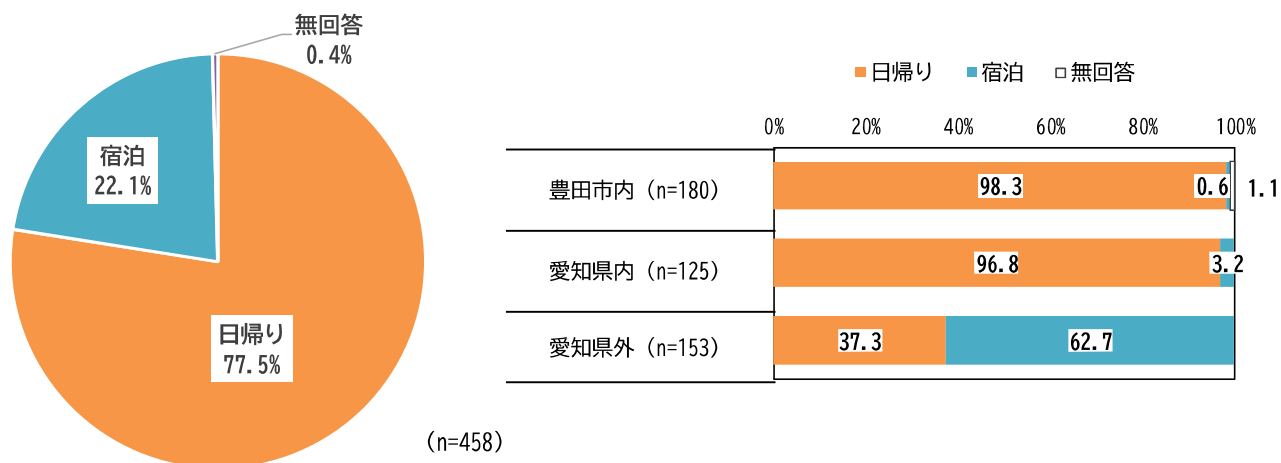
図 6 豊田市への来訪回数



問4 今回のラリー観戦は、日帰りですか、宿泊を伴ってのお出かけですか。
(○印は1つのみ)

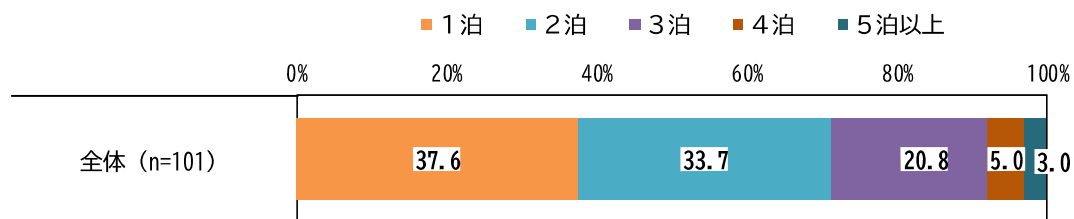
今回のお出かけについては、「日帰り」が 77.5%、「宿泊」が 22.1%となっています。
住まいごとでみると、愛知県外からの来訪者の約6割強が宿泊を伴っています。

図 7 今回のラリー観戦について



宿泊者(101 人)に対し、宿泊数についてたずねたところ、「1泊」が 37.6%と最も多く、次いで「2泊」が 33.7%、「3泊」が 20.8%、「4泊」が 5.0%、「5泊以上」が 3.0%となっており、平均宿泊数は 2.03 泊となっています。

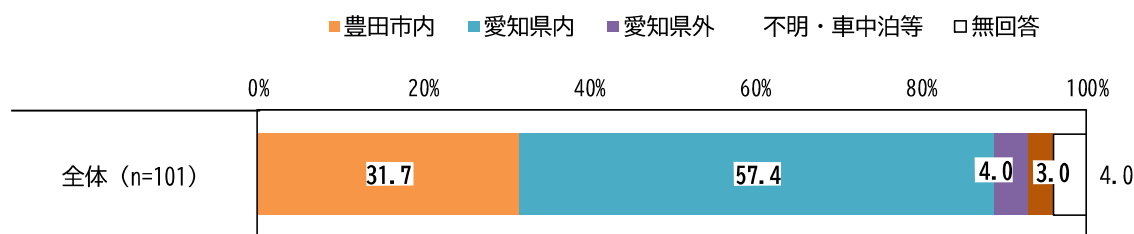
図 8 宿泊数



問4-1 どちらにお泊りですか。

宿泊者(101 人)に対し、宿泊した場所についてたずねたところ、「愛知県内」が 57.4%と最も多く、次いで「豊田市内」が 31.7%となっています。

図 9 宿泊した場所について



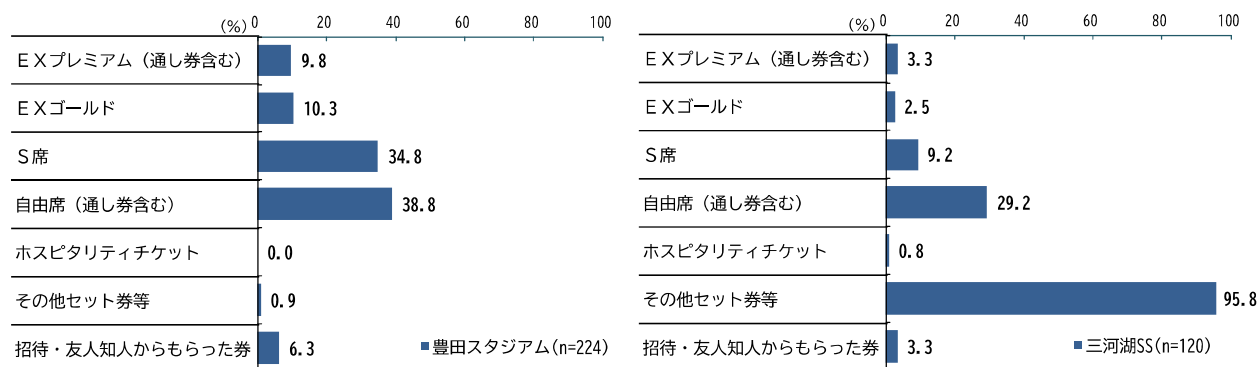
【豊田スタジアム・三河湖 ss のみ】

問5 あなたが今回購入されたチケットの種類を教えてください。

今回購入されたチケットの種類については、豊田スタジアムでは「自由席(通し券含む)」が 38.8%と最も多く、次いで「S 席」が 34.8%となっています。

三河湖 ss では「その他セット券等」が 95.8%と最も多くなっています。豊田スタジアムの自由席も 29.2%購入されており、三河湖ssだけでなく豊田スタジアムにも来訪しています。

図 10 チケットの種類



【豊田スタジアム・三河湖 ss のみ】

問6 レース終了後、豊田スタジアム内外で特別イベントを実施した場合、滞在時間をのばしても良いと考えますか。(○印は1つのみ)

レース終了後に豊田スタジアムで特別イベントを実施した場合の滞在時間の延長については、「滞在時間を延ばしてもいい」が43.6%と最も多く、次いで「内容による」が42.4%となっており、約9割弱の人がイベント次第では、滞在してもいいと思っていることがうかがえます。

年代ごとでみると、「滞在時間を延ばしてもいい」と回答した人は、30代以下や40代で高く5割前後を占めています。一方で、50代では約4割、60代では3割強と年齢とともに低くなる傾向にあります。また、滞在時間の延長に前向きな人（「滞在時間を延ばしてもいい」＋「内容による」）は、60代以上で7割台と低くなっています。

住まいごとでみると、「滞在時間を延ばしてもいい」と回答した人は、愛知県内からの観戦者で多く5割半ばとなっています。また、滞在時間の延長に前向きな人（「滞在時間を延ばしてもいい」＋「内容による」）は、いずれの地域においても8割を超え高くなっています。

図 11 滞在時間の延長

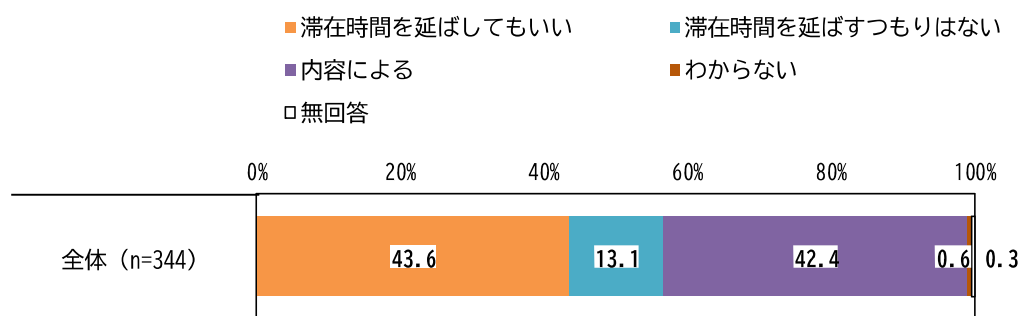


図 12 年代別×滞在時間の延長

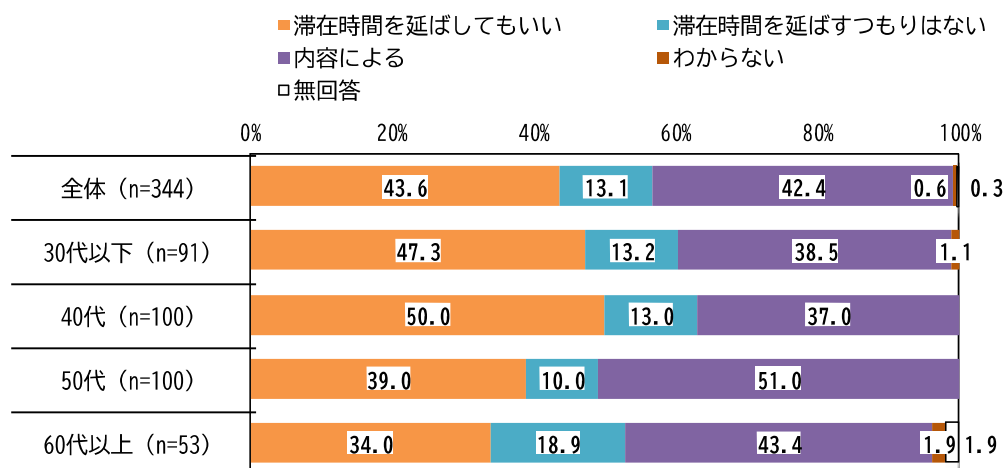
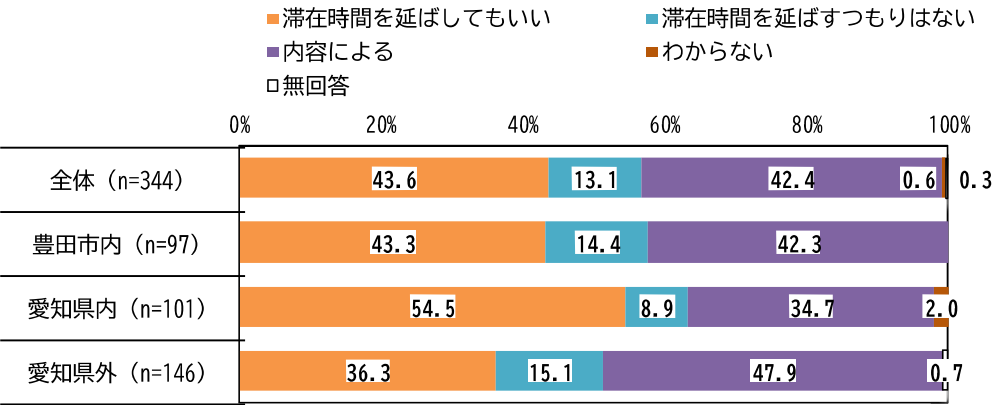


図 13 住まい別×滞在時間の延長



【豊田スタジアム・三河湖 ss のみ】

問7 滞在時間を延ばすことを前提に考えた場合、イベント前後に豊田スタジアム内外で開催を希望するイベントがあれば教えてください。(○印はいくつでも)

滞在時間を延ばす場合に希望するイベントについては、「コース同乗走行体験」が 61.6%と最も多く、次いで「デモ走行」が 38.4%、「ラリー関係者との交流」が 34.2%、「チームブース見学」が 33.4%、「コースウォーク」が 28.2%となっています。

住まいごとでみると、いずれの地域においても「コース同乗走行体験」「デモ走行」が上位2項目としてあげられています。また、「トヨタ自動車工場見学」は、愛知県外の遠方からの観戦者で約2割(19.2%)と高くなっています。一方で「ラリー関係者との交流」は、豊田市内や愛知県内で約4割と高くなっています。

滞在時間の延長とイベント内容の関係をみると、滞在時間の延長に前向きな人(「滞在時間を延ばしてもいい」+「内容による」)は、「コース同乗走行体験」や「デモ走行」などのイベントコンテンツに対するニーズが高くなっています。

「滞在時間を延ばすつもりはない」と回答した人でも、約半数は「コース同乗走行体験」への関心を持っています。

図 14 滞在時間を延ばす場合に希望するイベント

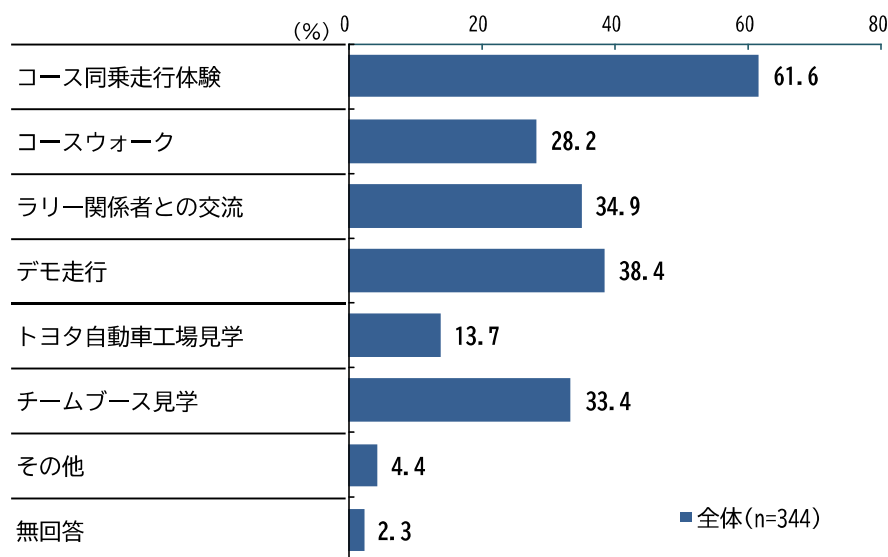


図 15 住まい別×滞在時間を延ばす場合に希望するイベント

		調査数	問 7 滞在時間を延ばす場合に希望するイベント							
			コース同乗走行体験	コースウォーク	ラリー関係者との交流	デモ走行	トヨタ自動車工場見学	チームブース見学	その他	無回答
調査数		344	61.6	28.2	34.9	38.4	13.7	33.4	4.4	2.3
住まい	豊田市内	97	63.9	29.9	39.2	42.3	5.2	29.9	4.1	2.1
	愛知県内	101	67.3	30.7	38.6	39.6	13.9	37.6	1.0	1.0
	愛知県外	146	56.2	25.3	29.5	34.9	19.2	32.9	6.8	3.4

図 16 滞在時間の延長×滞在時間を延ばす場合に希望するイベント

		調査数	問 7 滞在時間を延ばす場合に希望するイベント							
			コース同乗走行体験	コースウォーク	ラリー関係者との交流	デモ走行	トヨタ自動車工場見学	チームブース見学	その他	無回答
調査数		344	61.6	28.2	34.9	38.4	13.7	33.4	4.4	2.3
時 間 6 の 延 滞 長 在	滞在時間を延ばしてもいい	150	62.0	30.0	42.0	44.0	16.7	38.7	4.0	-
	滞在時間を延ばすつもりはない	45	48.9	15.6	15.6	15.6	8.9	8.9	15.6	17.8
	内容による	146	65.1	30.8	32.9	40.4	12.3	36.3	1.4	-
	わからない	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-

問8 ラリージャパンが豊田市で開催されることによる効果は何だと思いますか。
(○印はいくつでも)

ラリージャパンが豊田市で開催されることによる効果については、「地域経済の活性化」が63.1%と最も多く、次いで「モータースポーツ振興」が51.3%、「豊田市の知名度向上」が46.7%となっています。

住まいごとでみると、いずれの地域においても「地域経済の活性化」が6割前後を占め最も多くなっています。次いで豊田市内からの観戦者では「豊田市の知名度向上」が、その他の地域からの観戦者では「モータースポーツ振興」が半数以上を占めています。

図 17 ラリージャパンが豊田市で開催されることによる効果

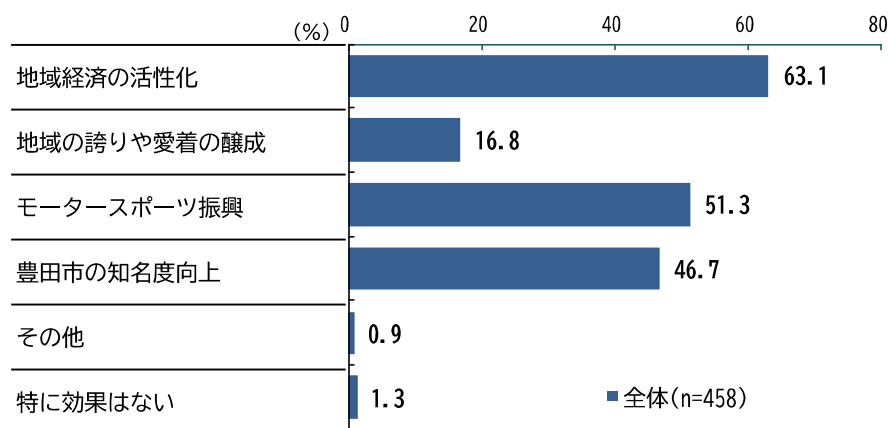


図 18 住まい別×ラリージャパンが豊田市で開催されることによる効果

		調査数	問 8 ラリージャパンが豊田市で開催されることによる効果					
			地域経済の 活性化	地域の誇り や愛着の醸 成	モータース ポーツ振興	豊田市の知 名度向上	その他	特に効果は ない
調査数		458	63.1	16.8	51.3	46.7	0.9	1.3
住 ま い	豊田市内	180	62.2	20.0	41.7	52.8	-	1.7
	愛知県内	125	69.6	17.6	57.6	40.8	0.8	0.8
	愛知県外	153	58.8	12.4	57.5	44.4	2.0	1.3

問9 今回のラリー観戦全行程の旅行費用の内訳を教えてください。

これからのご予定も含めて、一人当たりの金額を数字でご記入ください。使っていない品目は空欄で結構です。

今回のお出かけで使った1人あたりの平均金額については、「飛行機代」が 65,000 円と最も高く、次いで「宿泊費」が 17,286 円、「新幹線」が 17,145 円、「レンタカー代」が 7,833 円となっています。

今回のお出かけで利用した交通手段は、回答数からみて「ガソリン代」のかかる車・バイク等の利用者が最も多く、次いで「鉄道」の利用者が多くなっています。旅行での購入品としては「土産代 繊維製品」が最も購入者が多くなっています。

図 19 今回のラリー観戦全行程での旅行費用の内訳について

		人数	一人当たりの金額
車利用	レンタカー代	4 人	7,833 円
	ガソリン代（給油した場合のみ）	121 人	3,550 円
	駐車場代	117 人	2,160 円
	高速代	113 人	5,869 円
車以外の交通手段	飛行機代	1 人	65,000 円
	鉄道	101 人	1,688 円
	新幹線	22 人	17,145 円
	バス	22 人	1,055 円
宿泊費	宿泊費	83 人	17,286 円
飲食費	飲み物代	347 人	1,275 円
	食べ物代	359 人	2,232 円
	店舗での飲食費	137 人	3,720 円
お土産・グッズ購入	土産代 繊維製品	224 人	6,142 円
	土産代 工業製品	135 人	3,786 円
	土産代 食料品	96 人	2,745 円
他観光サービスの利用	他施設の入場料	2 人	2,500 円
	その他	1 人	1,000 円

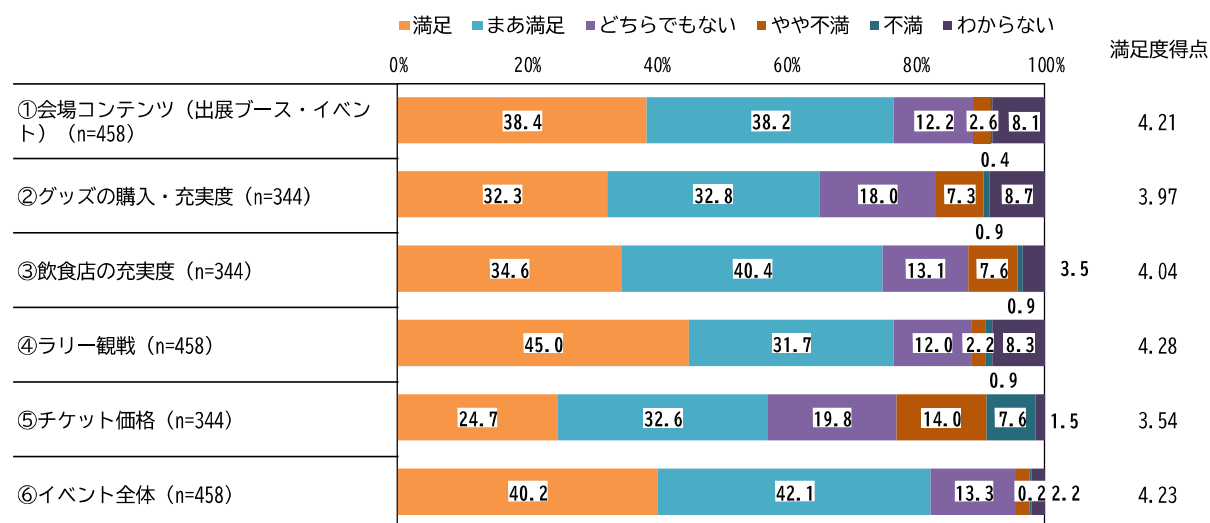
全体		458 人	16,063 円
居住地	愛知県外	153 人	33,315 円
	愛知県内	305 人	7,409 円

問 10 今回のラリー観戦における、各項目の満足度を教えてください。

ラリー観戦における、各項目の満足度をみると、「④ラリー観戦」が 4.28 と最も高く、次いで「⑥イベント全体」が 4.23、「①会場コンテンツ(出展ブース・イベント)」が 4.21、「③飲食店の充実度」が 4.04 となっています。一方で、「⑤チケット価格」は 3.54 と満足度は低くなっています。

会場ごとで各項目の満足度をみると、いずれの項目においても豊田スタジアムで観戦している人の満足度は全体平均を上回り、他の会場に比べ満足度は高くなっています。

図 20 今回のラリー観戦における満足度



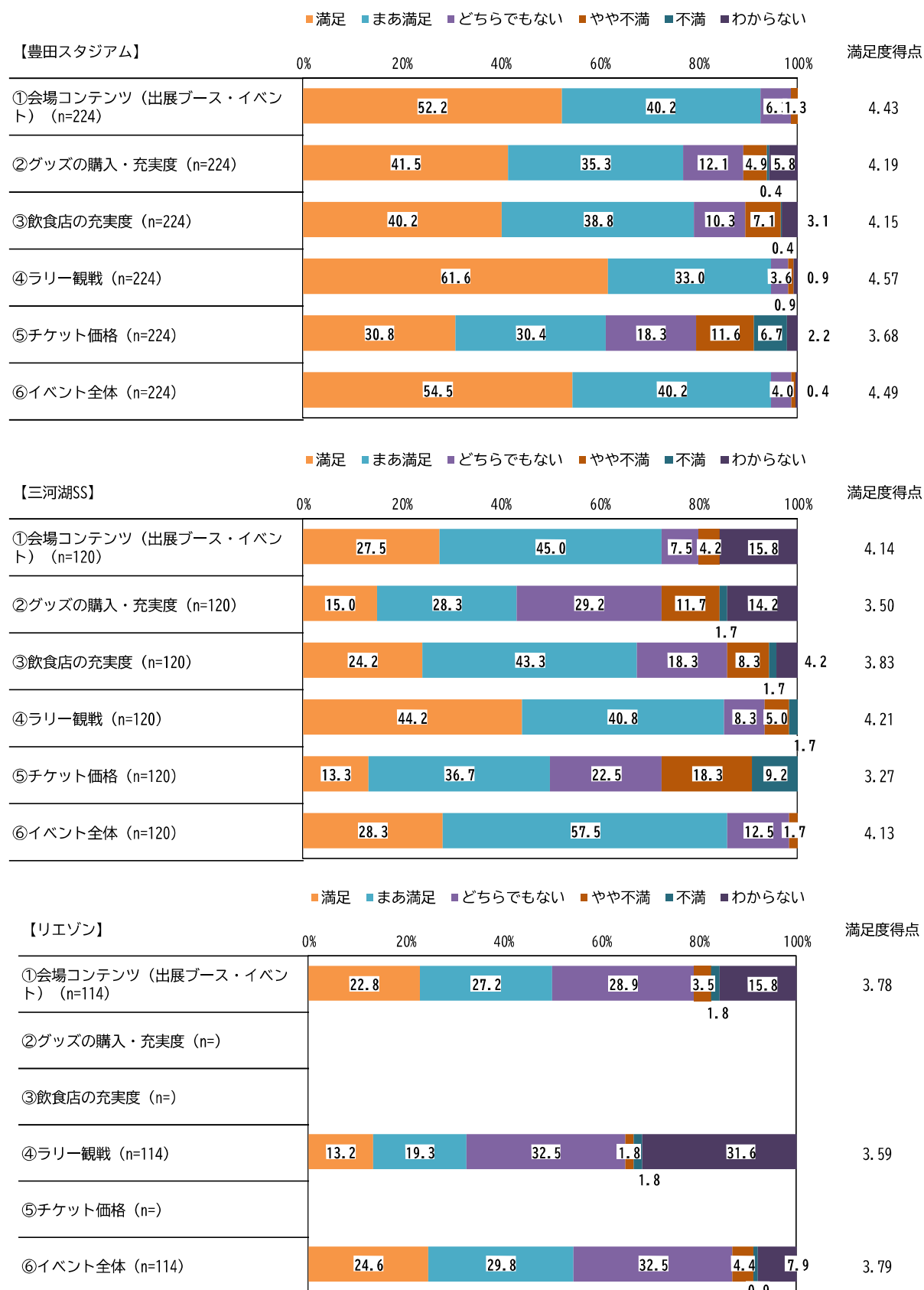
(満足度得点について)

それぞれ 6 項目のラリー観戦における満足度の回答結果に対して「満足」(+5)、「まあ満足」(+4)、「どちらでもない」(+3)、「やや不満」(+2)、「不満」(+1)、「わからない」は除いて満足度平均を算出した。

図 21 会場別×今回のラリー観戦における満足度のまとめ

	①会場コンテンツ (出展ブース・イベント)	②グッズの購入・ 充実度	③飲食店の充実 度	④ラリー観戦	⑤チケット価格	⑥イベント全体
全体	4.21	3.97	4.04	4.28	3.54	4.23
豊田スタジアム	4.43	4.19	4.15	4.57	3.68	4.49
三河湖SS	4.14	3.50	3.83	4.21	3.27	4.13
リエゾン	3.78			3.59		3.79

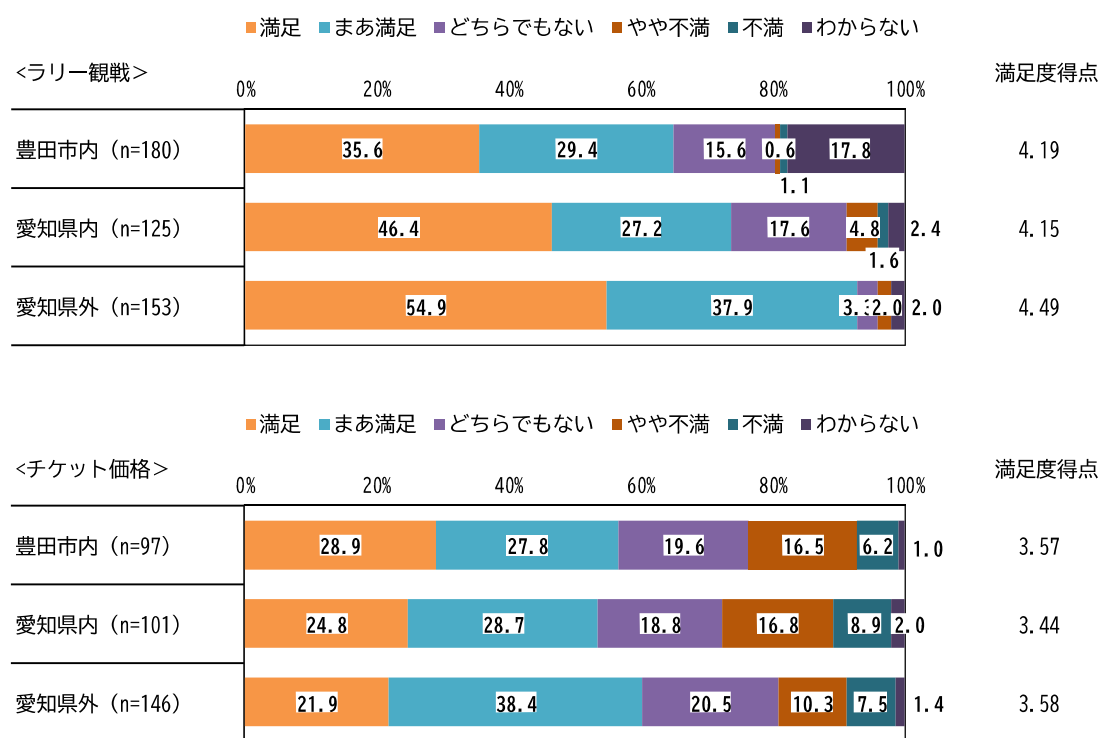
図 22 会場別×今回のラリー観戦における満足度



住まいごとでラリー観戦の満足度をみると、豊田市内、愛知県内に比べて愛知県外からの観戦者の満足度は高くなっています。

住まいごとでチケット価格の満足度をみると、いずれの地域においても満足度は 3.50 前後となっており、大きな違いはみられません。

図 23 住まい別×④ラリー観戦、⑤チケット価格の満足度



問 11 上記の事柄で不満に思ったことについてご意見をお聞かせください。

ラリー観戦における不満に思ったことについては、全体で 209 人の方から、254 件の意見がありました。

内訳では、「チケット価格」に対する意見が 81 件と最も多く、次いで「飲食店の充実度」が 28 件、「グッズの購入・充実度」が 26 件、「ラリー観戦」が 22 件となっています。

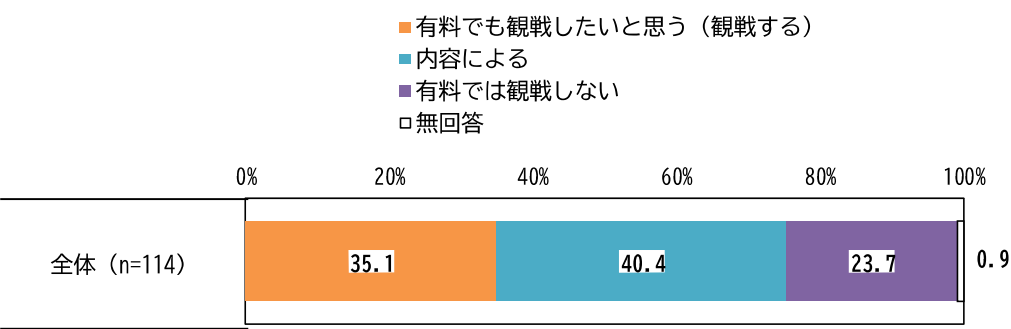
意見	件数
チケット価格	81
飲食店の充実度	28
グッズの購入・充実度	26
ラリー観戦	22
会場コンテンツ（出展ブース・イベント）	17
イベント全体	14
駐車場について	11
情報について	10
PR 不足	7
会場までのアクセス	7
トイレが少ない、汚い	5
その他	26

【リエゾンのみ】

問5 今回の試合は豊田スタジアムなどで有料観戦できますが、あなたは次回有料でも観戦したいと思いますか。

次回の有料観戦に対する意向については、「内容による」が 40.4%と最も多く、次いで「有料でも観戦したいと思う(観戦する)」が 35.1%、「有料では観戦しない」が 23.7%となっています。

図 24 次回の有料観戦意向



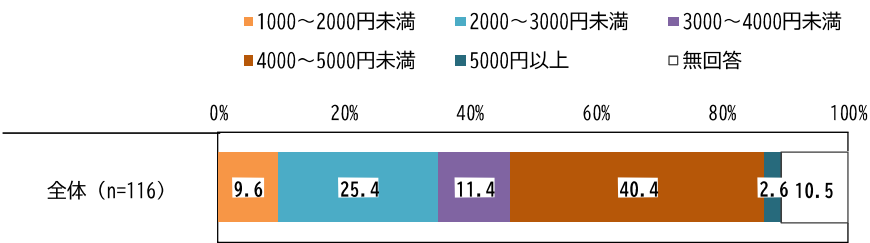
【リエゾンのみ】

問6 貴方はいくらだったら豊田スタジアム内でラリー観戦したいと思いますか。

いくらであれば豊田スタジアム内でラリー観戦をしたいかについては、「4,000～5,000 円未満」が40.4%と最も多く、次いで「2,000～3,000 円未満」が25.4%、「3,000～4,000 円未満」が11.4%となっており、平均金額は 3,049 円となっています。

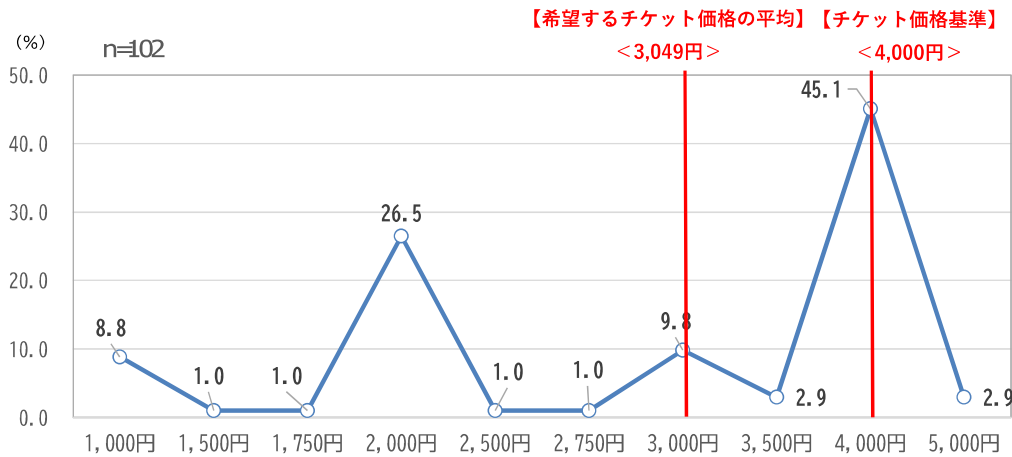
希望するチケット価格の分布をみると、チケット価格の基準値 4,000 円と設定したことから、4,000 円が約4割半ばを占めています。また、2,000 円を希望する人も約3割弱を占めています。

図 25 次回、いくらであれば豊田スタジアム内で観戦しますか



※チケットの入場価格は、自由席(4,000 円)を基準に聞いています。

図 26 希望するチケット価格の分布



※構成比は「無回答」を除いて算出しています。

問 5 での回答	希望平均額
有料でも観戦したいと思う	3224 円
内容による	3032 円
有料では観戦しない	2609 円